

企業活動基本調査(平成17年6月調査)速報要旨

平成17年調査における企業活動のポイントは

売上高は増加し、利益も大幅に増加。特に製造業は3年連続の増加
海外子会社による事業展開は引き続き進展
企業の事業活動は本業重視、特に、卸売業、小売業は集約化を継続
製造企業の研究開発費、設備投資ともに2年連続の増加

今回調査の状況

- ・ 売上高は621.3兆円で前年度比8.0%増と2年連続の増加。特に製造業は280.9兆円で同9.3%増と3年連続の増加。
- ・ 経常利益(25.1兆円、前年度比24.8%増)、営業利益(24.2兆円、同18.9%増)はともに3年連続の増加。
- ・ 常時従業者は、1105.5万人で前年度比6.3%増と2年連続の増加。正社員(前年度比5.3%増)、パートタイム従業者(同9.4%増)ともに増加。また、受入れ派遣従業者(同25.0%)は前年に続き大幅に増加。
- ・ 企業は正社員の比率を低め、パートタイム従業者を積極的に活用。
- ・ 売上高の本業割合は、製造業が82.3%(前年度差0.4ポイント上昇)と本業重視が継続。卸売業は75.3%(同1.4ポイント上昇)、小売業は74.1%(同0.9ポイント上昇)と集約化を継続。
- ・ 売上高に占める営業費用比率は、96.1%で前年度差 0.4ポイント低下と3年連続の低下。製造企業(同 0.6ポイント低下)、卸売企業(同 0.2ポイント低下)、小売企業(同 0.1ポイント低下)等でコスト削減が継続。
- ・ 製造業企業の海外技術収支比率は、1.29%(前年度差0.28ポイント上昇)で、7年連続の黒字。
- ・ 製造企業の研究開発費は9.7兆円(前年度比3.8%増)、設備投資(有形固定資産当期取得額)は12.6兆円(前年度比15.0%増)、ともに2年連続の増加。
- ・ 海外子会社・関連会社を保有する企業数は、1.2万社で前年度比4.4%増。子会社数は、8.1万社、同6.6%の増加。国内は同3.5%増、海外は同13.6%増。